

平成 24 年度水道事業会計予算概要

1 基本方針

本市の水道事業は、老朽施設の大規模更新や震災対策の強化などと、その財源確保、更には、料金収入の伸び悩みに対応した効率的な経営やサービス水準の向上など、様々な課題を抱えています。

このような状況から、現行料金を維持しつつ、より一層の経営基盤の強化を図るため、平成 22 年度に策定しました「中期経営計画(平成 23～27 年度)」に沿って、健全な財政運営を維持していきます。

2 平成 24 年度の主な取組

(1) 水道施設整備事業

重要なライフラインとしての効率的かつ安定的な給水を確保するため、老朽水道管の更新事業を中心とした水道施設整備を計画的に推進します。

- ・ 水道施設整備事業
 - (1) 地下水源整備事業
 - (2) 拠点施設整備事業
 - (3) 配水ブロック整備事業
 - (4) 配水支管整備事業
 - (5) 老朽管更新事業
 - (6) 耐震化事業

(単位:百万円)

	平成 24 年度	平成 23 年度	対前年度	
			増減額	増減率(%)
上水道施設整備事業	8,429	7,485	944	12.6

(2) 経営健全化の推進

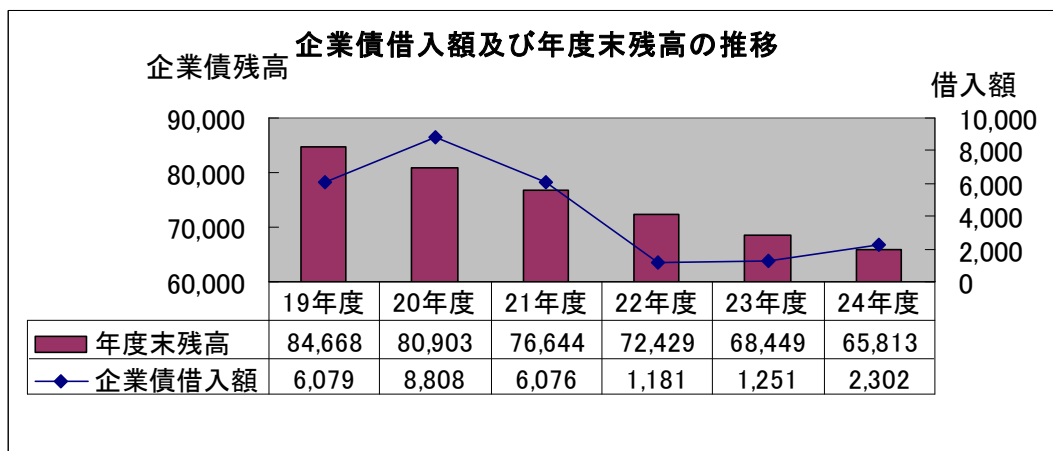
■ 経常的支出の削減

事務事業全般にわたる見直しを行い、支出の抑制と更なる事業経営の効率化に努めることで、経常的支出の削減を図ります。

■ 借入企業債残高の縮減

将来における元利償還金を軽減し、健全財政を維持していくため、できるだけ企業債の借入れを抑制し、自己財源を充てることで企業債残高の縮減を図ります。

(単位:百万円)



※ 企業債借入額には、繰上償還に伴う額(H19年度 5,150百万円、H20年度 7,230百万円、H21年度 4,940百万円)を含む。

3 予算規模

(1) 業務の予定量

		平成 24 年度	平成 23 年度	増減
給水件数	件	566,092	563,970	2,122
年間総給水量	m ³	134,679,250	135,880,020	▲1,200,770
一日平均給水量	m ³	368,984	371,257	▲2,273

(2) 予算の状況

■ 水道水をお届けするための予算(消費税込み)

(単位:千円)

	平成 24 年度	平成 23 年度	増減
収益的収入	31,361,102	31,740,720	▲379,618
収益的支出	27,141,074	27,445,202	▲304,128

■ 施設を整備するための予算(消費税込み)

(単位:千円)

	平成 24 年度	平成 23 年度	増減
資本的収入	3,974,513	2,985,557	988,956
資本的支出	16,864,506	16,991,699	▲127,193

※ なお、収支の不足額は、内部留保されている資金(減価償却費などの現金支出をとみなわないもの)などで補てんします。